

製品名: エルビン (リン酸化 Tyr1104) ウサギポリクローナル抗体

カタログ番号: APRab04629

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,ELISA
反応性	ヒト、ラット、マウス
標識	非共役
修飾	リン酸化
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください (12 ヶ月有効)。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,ELISA 1:5000-1:20000
分子量	172kDa

抗原情報

遺伝子名	ERBB2IP
別名	ERBB2IP; ERBIN; KIAA1225; LAP2; Protein LAP2; Densin-180-like protein; Erbb2-interacting protein; Erbin
遺伝子 ID	55914.0
SwissProt ID	Q96RT1
免疫原	ヒトエルビンのリン酸化部位 (リン酸化 Tyr1104) 周辺の合成リン酸化ペプチド

背景

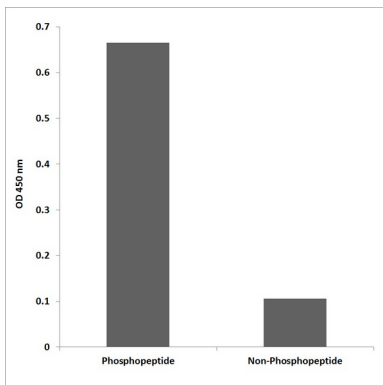
この遺伝子は、ロイシンリッチリピートおよび PDZ ドメイン (LAP) ファミリーのメンバーです。コードされているタンパク質

は、17個のロイシンリッチリピートと1個のPDZドメインを含みます。この遺伝子は、ERBB2タンパク質の非リン酸化型に結合し、ERBB2の機能と局在を制御します。また、Ras-Raf相互作用を阻害することでRasシグナル伝達経路に影響を及ぼすことも示されています。この遺伝子には、複数のアイソフォームをコードする選択的スプライシング転写バリエーションが観察されています。[RefSeq提供、2011年11月]機能: 上皮細胞において、受容体ERBB2のアダプターとして機能します。受容体ERBB2の非リン酸化「Tyr-1248」に結合することで、この非リン酸化状態の安定化に寄与する可能性があります。配列注意: 配列が汚染されています。潜在的なポリA配列。類似性: LAP (LRRおよびPDZ) タンパク質ファミリーに属します。類似性: 1つのPDZ (DHR) ドメインを含みます。類似性: 17個のLRR (ロイシンリッチ) リピートを含みます。細胞内局在: 重層上皮における細胞-基質接着複合体であるヘミデスモソームに存在します。トランスフェクト細胞では、細胞質全体に拡散して分布するか、基底膜に集中しています。サブユニット: ERBB2、BPAG1、ITGB4と相互作用します。ERBB2の存在を上皮細胞の基底膜に限定することで、ERBB2の局在を促進する可能性があります。また、ARVCFおよびデルタカテニンとも相互作用することが確認されています。組織特異性: 脳、心臓、腎臓、筋肉、胃で高発現しており、次いで肝臓、脾臓、腸で発現が見られます。、

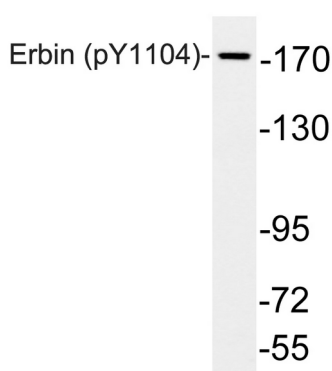
研究分野

NOD様受容体;

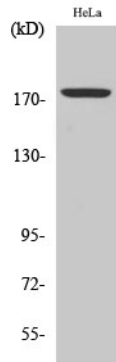
画像データ



リン酸化ペプチド (リン酸化左) および非リン酸化ペプチド (リン酸化右) に対する酵素結合免疫吸着測定法 (リン酸化ELISA)、Erbin (リン酸化Tyr1104) 抗体使用



ホスホエルビン (Phospho-Tyr1104) 抗体を使用した HeLa 細胞溶解物のウェスタンブロット分析。



ホスホエルビン (Y1104) ポリクローナル抗体を用いた様々な細胞のウェスタンブロット解析